



臓器提供をされた方のご家族は、深い悲しみの中、さまざまな思いで臓器提供を決断されます。

気持ちを伝えたいと思ったとき、大切な人を失ったご家族の気持ちに寄り添い、感謝の思いを書いてみましょう。あなたの気持ちはご家族に伝わります。

サンクスレターを受け取られたご家族の思い

- ・遠くからいつも応援しています。
- ・父の誇りを守ることができました。
- ・母を受け入れてくれてありがとう。
- ・息子ができなかったことを一緒に経験してほしいです。
- ・娘がどこかで人の役に立っていることが支えになっています。
- ・よく頑張りましたね。これからたくさん楽しいことができますように。
- ・私たちは元気に毎日を送っています。心配しないでくださいね。
- ・家族で心配していました。お手紙をいただいて安心しました。

『サンクスレターを書き終えたら』

1. 書き終えた手紙は封筒に入れ、封をしない状態で、移植施設の担当者へお渡しください。
2. 手紙の内容に個人情報の記載がないか確認させていただきます。
3. お預かりした手紙は、移植施設から日本臓器移植ネットワークへ送られ、担当のコーディネーターより臓器提供をされた方のご家族へお渡しいたします。

※ ご家族の状況により、手紙をお渡しできない場合があります。

※ 手紙を移植施設の担当者へ渡すことが難しい場合は、日本臓器移植ネットワークまでお送りください。その際、手紙を入れた封筒より少し大きな封筒へ、手紙を書かれた方の氏名(移植を受けられた方との続柄)、移植を受けられた方の氏名、移植施設名、移植年月日、移植臓器を記載したメモなどを同封してください。日本臓器移植ネットワークにお送りいただいた手紙は、移植施設の担当者と内容を共有させていただきます。

移植施設名

担当者

発行元：公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 家族連携室
〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階
TEL:03-5446-8806 (平日9:00~17:30)
監修：移植施設委員会レシピエント移植コーディネーター部会



サンクスレター

～あなたが気持ちを伝えたいと思ったときに～





『サンクスレターとは』

サンクスレターとは、臓器提供をされた方やそのご家族に対し、あなたやあなたのご家族の気持ちを伝える手紙のことをいいます。

手紙を通して、臓器提供をされた方や、そのご家族へ、あなたやあなたのご家族の気持ちを伝えることができます。



「どのようなことを書こう？」
「何を書いたら良いのだろう…」

- ・感謝の気持ち
- ・移植手術により起きた生活の変化
- ・現在の生活状況
- ・これからの目標や夢 など

短いお手紙でも、あなたの気持ちは伝わります。

『気持ちを伝えたいと思ったときは』



“いつ書けばよいか”の決まりはありません。
あなたが気持ちを伝えたいと思ったときにお書きください。



字を書くのが苦手な方や体調がすぐれない場合など、文字を書くのが難しい方は、パソコンを利用して思いを伝えることもできます。

『サンクスレターをお渡しするときの決まり』

手紙の内容は、コーディネーターが確認させていただきます。



お名前、年齢、連絡先などの個人情報*をお伝えすることはできません。
個人情報が含まれていたり、サンクスレターを受け取るご家族が不安になるおそれがある場合は、内容をご相談させていただくことがあります。
*複数情報の組み合わせにより個人の特定に繋がる可能性があります。



品物をお渡しすることはできません。
(現金、金券、切手、お花、写真、供物など)

『SNS利用時のお願い』



SNSへサンクスレターの写真や内容を投稿しないようお願いします。JOTでは、移植医療に関するルール（法律等）に基づき、ドナーとレシピエントに互いの情報が伝わらないよう匿名性を確保することを基本としています。